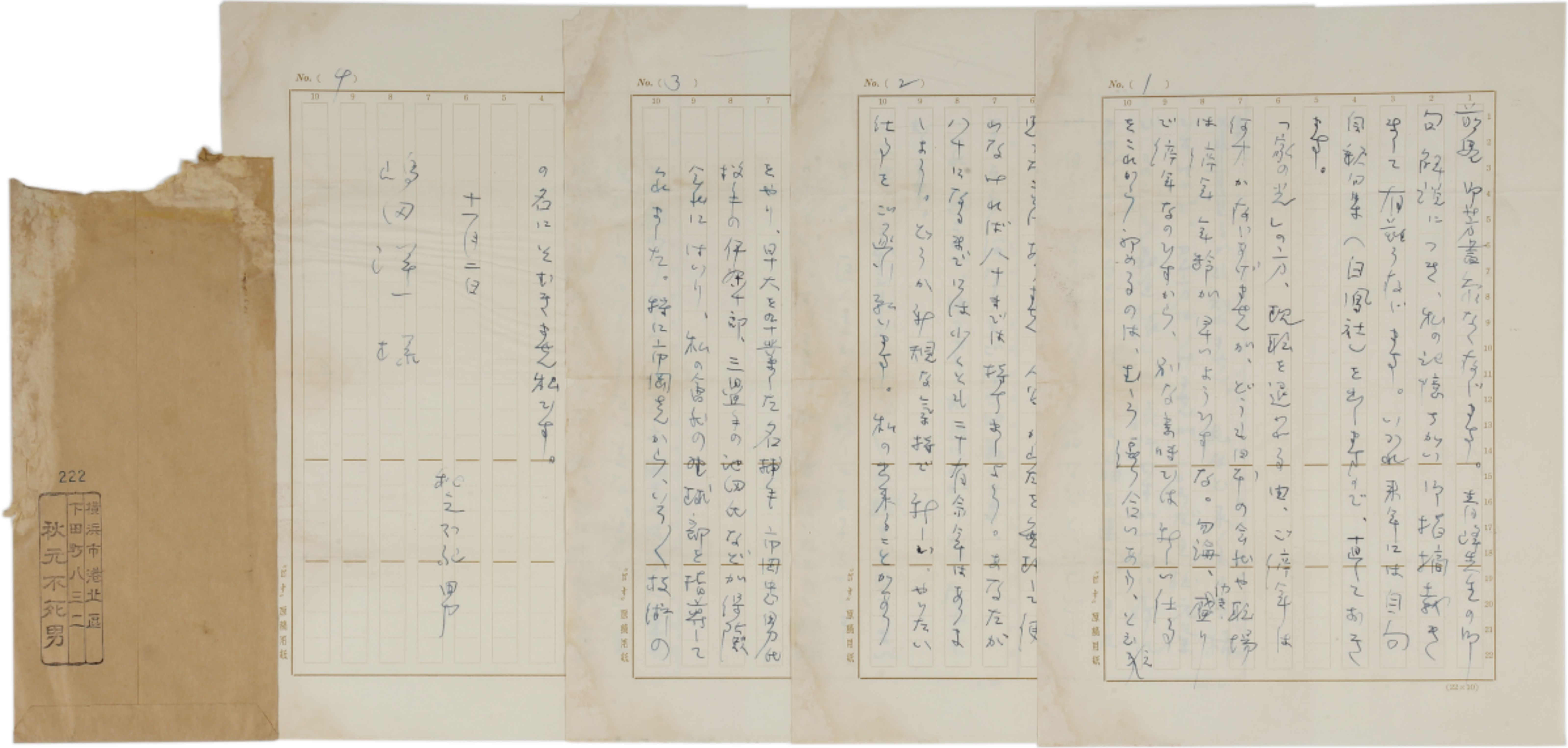

No.（1）

前略　御芳書有難うございます。青峰先生の御句解説につき、私の記憶ちがい御指摘戴きまして有難うございます。いづれ来年には自句自釈句集（白鳳社）を出しますので、訂正しておきます。

「家の光」の方、既稿を送る由、ご停年は何才か存じませんが、どうも四年の余地や職場は停年年齢が早いようですな。勿論、（かき）壁りで停年なのですから、別な意味では新しい仕事をこれから始めるのは、むしろ張合いあり、と云え

No.（2）

ぬなければ八十までは持てましょう。あなたが八十になるまでには少くとも二十有余年はありましょう。どうか新規な気持で新しい、やりたい仕事をご発見下さい。私の出来ることがあり

No.（3）

をやり、早大を卒業した名捕手市岡忠男氏投手の伊藤十郎、三塁手の池田氏などが[illegible]会社にはいり、私の会社の野球部を指導してくれました。特に市岡氏から、いろいろ技術の

No.（4）

の名にそむきました私です。

十月二日

秋元不死男

島田洋一　様

222

横浜市港北区
下田町八三二
秋元不死男